

でもなく、多くの方は自分の中で、それなりに折り合いをつけて、溜めておくことはよくないことと知りながら、日々生活しておられるのではないでしょう。か。

仏壮の先輩が「お寺に行くのは自分に会いにくいため」と言われていました。この言葉には、自分を励ましたり、慰めたり、リセットしたり、ゆつくりしたり、あるいは居るだけでよかったり、人それぞれがお寺で得られるいろいろな意味合いがあるように思います。

忘年会の席で話したのは、が、何故か覚えてるのは、「そうか。だから自分は仏壮を続けているのか」と腑に落ちたからではないでしょう。

会員の皆様、今年も「自分に会いに」仏壮においでください。

また、会員でない方も、このような自然体の仏壮はいかがでしょう。是非ご参加ください。

最後になりましたが、長野

題材法話

本年（昨年三月）も
こうして総会を開催す
ることができ、有難い
ことでした。
「この私はどうして
人間としてこの世に生
まれてきたのであろう
か？」
「何のために生まれ
てきたのか？」
「このようないことを誰
しもあるのではな
いでしょうか？」

特に人生に行き詰
まった時に、この挫折を感じ
た時に、この自問が多
いでしょう。
「その時、現代社会に
横行する価値観、すな
わち「役に立つ人間
のか」「必要と
人間のか」「成功
の間のか」「単
純で単純に自
観で単純に自



とても重要であり、そ
れを教えるのが
仏教なのです。
凡夫と呼ばれる私
が、何故この世に
生まれて訪
きたかというこ
とをねえ、
「いのちの不思議」
私達は一人の人間
として当然の
かさを頂いて
かすが、人間とし
て生きたこと、人
間として生
が、実に非常に不
思議なこと
な3年前に亡く
た生命科学者の村
上先生は、遺傳子
教授、雄波大学名
譽教授、この先生
は有名な方で、解
読でも有名な方
が、非常に興味
を色々仰つてお
ります。
「まず、私達
が、生命科学
の1億円の
に、百万回
連続して



それば、それが百万回連続とな
る。きない世界です。その確
率で私の命が誕生して
と、仏教の礼讃文に「人身
受け難し、今すでに受
く」とあり、今すでに受
して科学的な数値で示さ
れると、科学的な数値で示
と、私達の感覚ではあり得
ないことが、現にあり得
です。
「その私達の体は、人とし
ての持つて、遺傳子情
報により、組み立てられて
いることが、明らかにされ
ています。が、その遺傳子
報に、先生は、百科事典の
上、先生は、百科事典の
分、先生は、百科事典の
れ、先生は、百科事典の
だ、先生は、百科事典の



200冊、その膨大
な情報量のすべてが、
1粒の米を60億に分
けたほどの、ゲノムと
呼ばれる極めて小さな
スペースの中に、そう
く入り込んでいます。
「それになるのです。
私の体の現実として、こ
すね。驚くべきこと
です。
「最も驚くべきことと
れるのは、現代の生命
科学においては、現代の
く、解読できたその情
を、前に解読されたその
以前に、何者かゲノム
に書き込んで、ゲノム
う、事実です」と仰
す。
「世界をしてしか
れ、世界をしてしか

